

## 1 題材名 ASO ART WALK ～校内に隠されたARTを探せ！～

## 2 目標

- 自然のよさや、自然や身近な環境の中に見られる造形的な美しさなどに関心をもち、主体的に感じ取ろうとする。 (美術へ関心・意欲・態度)
- 自らの内面にある思いを具体化するための言語活動を行い、自然や作品のよさや美しさを感じ取り、自分の価値意識をもって味わう。 (鑑賞の能力)

## 3 評価規準

美術へ関心・意欲・態度	鑑賞の能力
・自然のよさや、自然や身近な環境の中に見られる造形的な美しさなどに関心をもち、主体的に思いを具体化したり感じ取ったりしようとしている。	・自らの内面にある思いを具体化するための言語活動を行い、自然や作品のよさや美しさを感じ取り、自分の価値意識をもって味わっている。

## 4 題材の指導について

## (1) 題材について

学習指導要領解説美術編の改善の基本方針として、「よさや美しさを鑑賞する喜びを味わうようにするとともに、感じ取る力や思考する力を一層豊かに育てるために、自分の思いを語り合ったり、自分の価値意識をもって批評し合ったりするなど、鑑賞の指導を重視する。」とある。本題材では、説明し合ったり批評し合ったりするなどの言語活動の充実を図り、自分なりの意味や価値をつくりだしていく学習活動を通して鑑賞の力を伸ばすことができると考える。また、本題材を通し、自分の感じ方を大切にしながら主体的に造形的なよさや美しさなどを感じ取るとともに、自分達の身近な生活の中にも、生活を豊かにする美術の働きなどを実感し、知的好奇心をもつことができると考える。さらに、「B鑑賞」の美術作品などのよさを感じ取り味わう活動を通して「A表現」における自分の表現意図に合う表現方法を工夫するなど、創造的に構想を練ったり、表現したりする力を高めることができる題材でもある。

## (2) 生徒の鑑賞に関する意識・実態調査 (平成24年9月3日 行方市立麻生中学校第2学年〇組27人)

項 目	回 答		
	は い	いいえ	合 計
1 美術館に個人で行ったことはありますか	3	24	27
2 美術館に遠足などで行ったことはありますか。	9	18	27
3 鑑賞と聞いて、何を思い浮かべますか。(複数回答可) 絵の感想を書く(15) 名画(11) 音楽(3) 面倒(1)			
4 鑑賞で苦手なことはどんなことですか。(複数回答可)			
○ 自分の考えを書くこと。			12
○ どうしてその作品がよいのか分からないから。			8
○ 自分の意見を発表すること。			7
○ 鑑賞の授業は難しい感じがするから。			7
○ 作品を見ても何も思い浮かばないこと。			5
○ みんなと自分の意見が違ってしまったりかもしれないこと。			4
○ 作品について先生の話聞かないといけないこと。			1

本年度、統合による人間関係の希薄さや新たな環境への順応などから生徒は当初、授業などでも消極的な様子が見られたが、時間の経過とともに人間関係が形成され環境に適応していき、本来の明るく素直な様子が見られるようになった。授業においても、落ち着いて取り組み、課題にも意欲的に取り組む生徒が多い。

しかし、鑑賞の学習においては、鑑賞の学習自体への苦手意識から、難しい授業だと思っている生徒が多い。また、自分が考えたことと他の生徒との考えが違ってしまふことに不安感があることも分かった。

1学期に行った鑑賞では、自分の意見を発表することに消極的な場面が見られた。しかし、自画像制作時に毎時間実施した学習カードへの感想記入や作品完成後の相互鑑賞では、自分の作品や他者の作品について、思いや考えを表現した内容の記述が見られた。

そこで、鑑賞する対象を自ら探し、作品とすることで、自分の思いや考えをより深いものとし、自然や作品のよさや美しさを感じ取る鑑賞の能力を育てることができるのではないかと考えた。

### (3) 指導観

中学校学習指導要領解説美術編「B鑑賞」第2学年及び第3学年(1)イにおいて「美術作品などに取り入れられている自然のよさや、自然や身近な環境の中に見られる造形的な美しさなどを感じ取り、安らぎや自然との共生などの視点から、生活を美しく豊かにする美術の働きについて理解すること。」と示されている。美術科の指導においては、美術作品だけではなく自然環境、事物事象も含め、幅広く捉え、感じ取る力を育てることが重要であると考え。そこで本題材では、校内全体を学習の場として、〔共通事項〕ア「形や色彩などの性質や、それらがもたらす感情を理解すること。」を重要な視点として、生徒一人一人が自らの価値観のもと意図に合う作品や事物を選定していく場の設定をする。また、選定した作品や事物への思いや根拠を説明し合うなどの言語活動を通して他者との見方の違いを理解し、芸術作品と言われるものだけではなく、身近なものにもよさや美しさを備えたものがあることに気付かせたい。さらに、「A表現」において、自らの表現意図に合う表現方法を考え工夫するなど、創造的に構想を練ったり表現したりする力の育成にも結び付けていきたい。

## 4 指導と評価の観点（3時間取扱い）

時	学 習 活 動	評価の観点		学習活動に即した評価規準 ( ) は評価方法
		関	鑑	
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・校内を巡り、自分の思うアートを探す。</li> <li>・ワークシートに記録する。</li> </ul>	○	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自然のよさや、自然や身近な環境の中に見られる造形的な美しさなどに興味をもち、主体的に感じ取ろうとしている。 (学習の様子)</li> <li>・校内の造形的なよさや美しさ、ものの形や色彩などを、自己の考えや思いをもって感じ取っている。 (学習の様子、作品、ワークシート)</li> </ul>
2 (本時)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前時のワークシートを基にグループになり話し合う。</li> <li>・校内アートマップを作る。</li> </ul>		○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自己と他者の心情の違いに気付き、批評し合ったり自己の考えを深めたりして、作品のよさや美しさを感じ取っている。 (学習の様子、ワークシート)</li> </ul>
3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前時の校内アートマップ、ワークシートを基に、自他の作品への考えや批評し合った内容を深め、話し合う。</li> </ul>		○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自他の選んだもののよさや美しさ、生活を豊かにする美術の働きについて、自分の価値意識をもって味わっている。 (学習の様子、ワークシート)</li> </ul>

<具体的な言語活動>

- ・選定した作品や事物への思いや根拠を自分の言葉で説明する。

<期待される生徒の姿>

- ・自分の内面にある思いや根拠を説明し合うことで、自然や作品のよさや美しさを感じ取る。
- ・〔共通事項〕を視点に話し合うことで、自然や作品のよさや美しさ、生活を豊かにする美術の働きなどに気付く。

6 本時の指導

(1) 目標

- 自己と他者の心情の違いに気付き、批評し合ったり自己の考えを深めたりして、作品のよさや美しさを感じ取ることができる。

(2) 準備・資料

ワークシート（前時・本時）、校内地図、掲示用資料

(3) 展開

学習活動・内容	指導上の留意点（※評価）
<p>1 本時の課題を知る</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <p style="text-align: center;">ASO ART WALK ～みんなでARTの話をしよう～</p> </div> <p>2 お互いの作品について話し合う。</p> <p>(1) テーブルごとに任意のグループで話し合う。</p> <p>(2) 自分と似た作品や事物を選択した者同士で新たなグループをつくり、話し合う。</p> <p>(3) 自分と違う作品や事物を選択した者同士で新たなグループをつくり、話し合う。</p> <p>3 校内アートマップを制作する。</p> <p>4 本時の学習を振り返り、次時の学習について確認する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前時に自分が見付けたARTなものについて、グループになって、説明し合うことを伝える。</li> <li>・話し合うときのポイントを掲示し、迷ったときに確認できるようにする。</li> <li>・ワークシートだけでなく、写真、実物、自分で写生したものなどを活用することを伝える。</li> <li>・自らの内面にある思いや根拠を説明していくように示唆する。</li> <li>・他者に自分の思いや根拠が伝わるように、「形」や「色彩」、「材料」などの性質やそれらがもたらす感情に視点を置き、説明することを助言する。</li> <li>・話し合う目的を理解させ、グループを決められるようにする。</li> <li>・一方的に説明するのではなく、他者の話を聞き批評し合うように助言する。</li> <li>・つまずきの予想される生徒には、説明したい内容を一緒に整理し、話し合いへ参加できるようにする。</li> </ul> <p>※自己と他者の心情の違いに気付き、批評し合ったり自己の考えを深めたりして、作品のよさや美しさを感じ取っている。</p> <p style="text-align: center;">＜鑑賞の能力＞（学習の様子、ワークシート）</p> <p>A 自分の考えを相手に分かるように説明し、他者の意見を聞くことで自分の考えとの違いに気付き、批評し合ったり自己の考えを深めたりして、作品のよさや美しさを感じ取っている。</p> <p>C 自分と他者の考えが違って当たり前だということを伝え、一緒に話し合いに参加し安心感をもたせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の見付けた作品の場所を、拡大した校内地図へ各自記入し、校内アートマップを制作する。</li> <li>・話し合いの中で新たに気付いたことなどを加え、今日の活動についてまとめる。</li> <li>・次時の活動内容とそれに伴う準備物の説明をする。</li> <li>・ワークシートが未完成の生徒へは、次回までに各自完成させておくことを伝えて終了する。</li> </ul>

※ 指導観にある波線は学校指導方針との関連

※ 展開にある点線□は校内研究テーマと言語活動との関連